

りんご新品種「陽光」の特性

1. 来歴及び育成経過

陽光は、群馬県園芸試験場北部試験地（現在群馬県農業総合試験場北部分場）で育成された品種で、ゴールデンデリシャスの自然交雑実生から選抜されたものである。昭和46年に選抜が行われ、昭和53年に命名、昭和56年5月に品種登録された。当场では昭和57年に穂木を導入し高接ぎを行って、その特性及び地域適応性を検討してきたところ、栽培性、品質ともに優れていることから、昭和62年に本県の推奨品種に決定された。

2. 特性概要

樹勢は中～やや強く、樹姿は開張性を示す。枝しょうの発生は少ない方で、枝葉はゴールデンデリシャスに似ている。花芽は着生しやすく結果樹齢に達するのが早いゆえに、豊産性で隔年結果性は少ない。農試における生育特性及び果実品質を表-1に示した。開花期は本県の主要品種であるつがる、スターキングデリシャスと同時期である。花粉は多い方で、受粉樹としても使用できる。

収穫期は10月中・下旬で、スターキングデリシャスとふじの間である。本県ではこれまでこの時期に収穫できる優良品種がなかったということもあり、品種構成上極めて適した品種といえる。

果実は300～350g程度と大きい方で、果形は長円形で玉揃いが良い。果皮色は鮮紅色で極めて着色が良い。ジョナゴールドのように収穫期の果皮表面がろう質になることはないが、果面にさびが出やすく、表-2に示したように胴さびと尻さびが多い。

果肉は淡黄白色で、肉質はやや硬く粗い方であるが、多汁であり、甘酸適和で食味良好な品種である。

栽培面からみると、スターキングデリシャスのようなジュンドロップはなく、つがるのような収穫前の落果もほとんどない。また、ボルドー液による葉焼けも見られない。

病虫害については、斑点落葉病、うどんこ病に強い品種である。

表-1 陽光の生育特性と果実品質

年次	樹 齢	展葉期 月日	開花期月日			収穫期月日			平均 果重 g	さび	着 色		糖度 %	酸度 %	硬度 ポンド
			始	盛	終	始	盛	終			程度	カラー チャート			
昭60	4	4.16	5.1	5.3	5.4	10.4	10.7	—	298	中	良	4.0	14.6	0.37	7.1
61	5	4.21	5.2	5.5	5.8	10.11	10.15	10.20	371	や多	良	4.0	14.4	0.37	10.1
62	6	4.23	4.23	4.24	4.30	10.14	10.17	10.22	314	中	良	4.5	14.5	0.47	10.2

注 1. 樹齢は高接ぎ後の年数

2. 糖度は屈折計示度、酸度はリンゴ酸%, 硬度はマグネステラー示度

表-2 年次別にみたさびの発生状況

年 次	さび発生 果実の割 合 %	さびの部位別割合 %		
		つるさび	胴さび	尻さび
昭 60	40.4	9.5	19.1	71.4
61	51.9	14.3	35.7	50.0
62	37.6	2.6	26.3	71.1

表-3 地域による特性 (昭61)

産 地	平 均 果 重 g	有・無 袋の別	着 色		外 観	肉 質	食 味	糖 度 %	酸 度 %	硬 度 % ボンド
			程 度	カラー チャート						
矢 板	369	無	良	4.5	さび中	粗	良	14.0	0.52	9.5
宇都宮	394	有	良	4.5	良	やや粗	良	14.4	0.61	9.7

3. 栽培上の留意点

M26台を用いたわい化栽培では新しょうの発生が少なく、主幹部がいわゆる「胴抜け」になりやすいので、目傷処理や、樹が落ちつてからの切り返しせん定を行うなどして、枝しょうの確保に努めることが大切である。

果面のさびは、幼果期の薬剤散布による果面の汚れ等も原因となるので、小袋かけを行ったり、幼果期の薬剤散布時に炭酸カルシウムを混用するなどして、果面保護に努める。

また、日持ちは良い方であるが、長期貯蔵を行うと異臭が出るので、年内販売が良いと思われる。

(担当者 果樹部 早田 剛)